

Governor's Monthly Communication



人類に奉仕する
ロータリー

2016-17年度
国際ロータリーテーマ

2016-17年度
国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム

2016-17年度
地区ガバナー
庄司 尚史



CONTENTS

- 1 地区ガバナーメッセージ
- 2 台湾雙和RC創立20周年
記念式典に参加して
- 3 国際ロータリー第2690地区
第10・第11グループIM報告
・
グローバル補助金プロジェクト報告
- 4 米山記念奨学会
- 5 楽しいだけじゃない! 3地区合同
オリエンテーションの意義と心構え
- 6 地区だより
- 8 出席報告



「母子と健康月間」に因んで

庄司 尚史

2016-17年度 第2690地区ガバナー
Naofumi Shoji

2016年のポリオの症例数が37例だったという報告がありました。前年のちょうど半分です。0に近づいています。残念だったのは、2年間発症がなかったナイジェリアで4例の発症があったことです。3年間0を続けポリオフリー宣言をすることの難しさを知りました。常在国が2カ国から3カ国になってしまいましたが、その中で1番症例数が多いのがパキスタンです。2012年～2015年の4年近く、パキスタンの北西部でアフガニスタンとの国境地帯の子供約50万人が、予防接種を全く受けていなかったようです。当時タリバンなどの武装グループの支配下であり、ポリオ予防接種が禁じられていたことで、同国のポリオ発症の70%がこの地域でのものだったのです。世界からポリオを撲滅するためには、この地域の対策がポイントになります。

「My ROTARY」にパキスタンにおけるポリオ

ワクチン投与で活躍するロータリーの活動状況が紹介されています。パキスタン政府は手をこまねいていたわけではなく、2014年の304件から2016年は20件まで症例数を減少させています。2015年の掃討軍事攻撃によりタリバンが北部地域から追い出された後、100万人以上の住民が近隣地域やアフガニスタンに移動するということがあり、パキスタンとGPEI(世界ポリオ撲滅推進活動)のパートナー組織は、研修を受けた20万人以上のワクチン投与者を配置しています。特に、国内600カ所以上の交通要所に「PTP」と呼ばれる予防接種のための常駐所を設置し、移動する数百万人の子供や家族への予防接種を行っています。

ロータリーは、30カ所以上のPTPを計画段階から関わり、資金面で援助し、このプロジェクトに貢献しています。アフガニスタンとパキスタン両

国は、国境でのPTPとワクチン投与がポリオ撲滅のために必要だということで、緊密に連携をとる合意ができたようです。さらにロータリーは、イスラム学者と協力してパキスタン聖職者ポリオプラス委員会を結成しています。私たちはロータリー財団への協力を通して、現地で活動されているロータリアンの力になりたいものです。

ジョン F. ジャーム国際ロータリー会長は、ロータリー財団100周年の今年度をポリオ発症最後の年度にしたいと述べています。国際ロータリー、

ロータリー財団挙げての取り組みということで、各クラブにおいても様々な取り組みをしていただいています。パキスタンでの活動を見ると松本祐二ポリオ撲滅コーディネーター(パストガバナー)がおっしゃるように、ポリオの撲滅は必ず達成できそうです。日本では年間180億円、世界では約1000億円のワクチン投与の経費がなくなり、子供たちそしてお母さんたちからポリオの不安がなくなる日をロータリアンとして一緒に早く迎えたいものです。



台湾雙和RC創立20周年記念式典に参加して

倉敷東RC会長

太田 隆温 (倉敷東ロータリークラブ)

2016年11月2日3日4日、台北ハワード・プラザホテルで開催された、国際ロータリー3480地区、台湾雙和RC創立20周年記念式典に参加してきました。

当クラブからは、佐々木孝之ガバナー補佐をはじめ会員家族21名が参加しました。倉敷を早朝5時半に出発し、広島空港を9時に飛び立ち台北桃園国際空港に約2時間で到着、入国審査を受けた後、雙和RCメンバーの熱烈なお出迎えを受けました。台北市内観光し昼食は小籠包で有名な「ティンタイフォン」で戴いた後、ホテルでチェックインをした後、午後6時からの記念式典、引き続いて歓迎会が午後10時まで盛大に行われました。

2日目の朝は8時半にホテルを出発し、忠烈祠での衛兵交代式を見学した後、世界四大博物館の一つである国立故宮博物院で秘宝を鑑賞した後、現在世界5位、508mの高層ビル「台北101」89階からの眺めを楽しみました。午後6時から私たちのために歓迎の夕食会をメンバーのお店を貸し切りで開催して戴きました。途中から歌とダンスの祭典になり大いに盛り上がったのは言うまでもありません。

3日目はホテルを10時出発し、「九份」の街でお茶を楽しみ帰路につき午後10時に倉敷に無事帰ってきました。

②雙和RCとの協同事業について、1999年4月18日に姉妹クラブの締結を行い、17年間にわたって、会員相互の訪問や、毎年青少年交換プログラムを実施することにより、友好の輪を拡げています。

2000年より始めました青少年交換プログラムでは、雙和RC24名、倉敷東RC26名の青少年が参加し、身近な隣国としての理解を深めてきています。

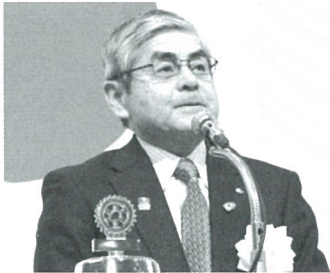
2011年3月11日に起こりました東日本大震災の際には雙和RCとイタリア第2100地区、宮城県築館RC、倉敷東RCがマッチング・グラントを使い3カ国のRCが東日本大震災津波被災地の南三陸町にマイクロバスなど5台の車輛を寄贈いたしました。さらに追加で戴いた義捐金をベースに第2690地区DDF、第2780地区DDF、第2520地区等と協力し南三陸町歌津コミュニティ図書館の寄贈を行いました。被災地の皆様に大きなプレゼントが出来ましたのは友好の賜物です。



国際ロータリー第2690地区 第10・第11グループ I M 報告

第10グループガバナー補佐

下山 宏昭 (岡山北ロータリークラブ)



第10、第11グループのインターシティミーティングは1月29日(日)に、延原 正パストガバナー、佐藤芳郎直前ガバナー、池上 正ガバナーエレクト、小田 慈第10グループ次期ガバナー補佐、森末英男第11グループ次期ガバナー補佐の皆様方のご出席を賜り、午後2時から岡山市の岡山プラザホテルで開催いたしました。

今年度のIMは「ロータリー財団100周年」の記念の年にあたることから、財団の原点に立ち返って「愛、命、地域、世界、奉仕」をテーマに掲げました。

国際ロータリーのジョンF・ジャーム会長のスローガン「人類に奉仕するロータリー」も、庄司尚史ガバナーが掲げる「世界のため、地域のため」も、その底流には財団の原点であるヒューマニズム、命の大切さ、人類愛に貫かれていると理解したからです。

特別講演には「ロータリアン以前のロータリアン」と評された二宮金次郎(尊徳)の7世の子孫 中桐万里子さんをお迎えし、「日常にねむる幸せの種～金次郎流・豊かな奉仕の秘訣」という演題で講演していただきました。

また事例発表では、岡山南RCの西川智晴さんから「ポストポリオ症候群の現況～ポリオ撲滅キャンペーン」岡山旭川RCの富岡昌俊さんから「アマモ場の再生について」岡山中央RCの江原芳男さんから「台湾・医療過疎地に巡回診療車～実った海外RCとの交流」岡山城RCの八杉和哉さんから「地域に根差した奉仕活動～キャッスル賞について」そして岡山北RCの高畠 浩さんから「Banmi村の子どもたちへ～支援し続けて友になる」と、それぞれIMのテーマに沿った実践事例について発表していただきました。

懇親会は佐藤直前ガバナーの乾杯で幕を開け、可愛らしく、凛々しい「子ども神楽」や弦楽四重奏によるアトラクションを楽しんでいただきました。

第10、第11グループの皆様の全員登録と320人余りの会員のご参加によって、相手の事を思い、相手のためになることを実践し、そこに幸せを求めるとするロータリーの心を学ぶ勉強会になればと願いました。皆様方のご協力、ご指導に心からお礼申し上げます。



笠岡 RC

グローバル補助金プロジェクト報告

笠岡RCは2015/12に姉妹クラブであり本PJの実施国側代表提唱者Nz国タウランガRCより、タウランガ市を母港として太平洋の特に西太平洋の地域で治療活動をする慈善船に眼科医療機器を贈呈するPJの援助国側代表提唱者になって欲しい旨の要請があり、これを引き受けた。

「疾病予防と治療」を重点分野とし、PJ名を「Marine Reach MV "Pacific Hope" Ophthalmology Clinic Equipment Project」、2015/11にPJを立上げ、2016/5にR財団に申請、

2016/8にR財団の承認を得て2017/2に贈呈式を行った。贈呈した機器は8種類でこのPJによる機器は15年間に亘り活用される。

資金調達は笠岡RCを含む9RCから28,599US\$、2690地区を含む3地区から14,800US\$のDDF、R財団拠出のWF 29,100US\$で総額72,489US\$のPJである。2017/2/5の船上での贈呈式には申請年度のG佐藤PG、笠岡RCからは長鋪会長と小堀幹事が出席した。



米山記念奨学会

国際ロータリー 2690地区 米山委員長

都田 修史 (米子中央ロータリークラブ)

2017年度奨学生の面接選考会が1月22日(日)に開催されました。選考会に先立って前日の21日(土)には面接官の研鑽をかね、奨学生の評価を皆が同じレベルで判断できるように「面接官のオリエンテーション」を行いました。

今回の奨学生選考会は、46名の応募枠でその中から23名を選別し奨学金を給付する計画でしたが、奨学生の応募申請者は37名でした。内訳は中国26名、ベトナム5名、韓国2名、タイ・マレーシア・モンゴル・バングラディッシュ出身者が各1名、男女比では男：女 14：23と、最近では女性の方が頑張っているのでしょうか。

まずは、面接選考会に来られる前に、希望者ごとに「申請書」「履歴書」「受け入れ大学の指導教官の推薦書」「研究テーマ」「将来の目標」を記載した書類が37セット届けられました。それを5段階評価で点数をつける書類審査、年末に届けられ、お正月過ぎには点数を記載してガバナー事務所に返却し、少しせわしないことです。

当日は37名の申請者を午前の部、午後の部に分けそれを又2グループに分けて個人面接…留学の目的、コミュニケーション能力、ロータリーへの関心度など…で点数評価。次にグループディスカッション…

申請者の中から進行役を決めさせ、指定したテーマについて自由に話し合わせる、「面接官は黙って見ている・聞いている」で…評価し点数を記載、その評価総合点の結果から奨学金給付者を決定していきます。

評価点をもとに最終的に奨学金給付者を選定した結果、2017年度生は岡山大学7名、島根大学5名、鳥取大学3名、島根県立大学3名、岡山商科大学2名、岡山理科大学、環太平洋大学、津山高専の各1名の23名に決定しました。本当のところすべての志望者のレベルが高く、面接官が彼等・彼女らを点数評価をしてよいのだろうかとは思われました。できることなら全員を給付対象者にしたいと面接官全員が思っていたようです。

今回の奨学金新支給決定者の中に1年を超える奨学金支給希望差が多く、この方々を採用したために次年度の奨学生募集数に少なからず影響が出てしまいました。

素晴らしい奨学生を選んだと自負はしています。そして日本と奨学生の母国を結ぶ架け橋になってくれるものと期待しています。

追伸 面接日の翌日の月曜日は、会場になった米子は積雪40cmを越える大雪。米子空港も閉鎖、JRも遅延、交通機関はマヒ状態の大変な天候でした。



米山記念奨学生
面接選考会
1月22日(日)



米山記念
奨学会学友総会
奨学生歓迎会
2月26日(日)





楽しいだけじゃない！3地区合同 オリエンテーションの意義と心構え

酒井 博淳 (境港ロータリークラブ)

『人生を変えるような貴重な経験を若者に味わってもらいたい。そんな思いを、かたちにできるのが「ロータリー青少年交換」です。学生達が新しい文化や習慣に触れることで、グローバルな理解が芽生え、平和の土台が築かれます。さらにその恩恵は、学生達だけでなく、留学生を世話するロータリークラブやホストファミリーにも及びます。』My ROTARYのホームページをご覧くださいと、このような書き出しで交換留学の実施について紹介されています。かなり夢と希望に満ちた紹介となっていますが、その夢や希望を実現するためには、留学を希望する学生達も我々ロータリアンも事前の膨大な準備が必要になります。本年度は、その準備のために年間6回、小委員会も含めると10回以上の委員会とオリエンテーションを開催し準備しております。その中に3地区合同オリエンテーションがあります。当地区は毎年2670地区と2710地区の3地区で国際ロータリー青少年交換プログラムの一貫として中四国3地区合同オリエンテーションを2日間行います。今年度も総勢60名以上の参加で倉敷シーサイドホテル研修棟において行われました。これは各地区で行う少人数のオリエンテーションとは異なり、3地区

からIN BOUND、OUT BOUNDやROTEXが集まることで、不安を抱えているOUT BOUNDには大きな励みになっていると思います。また、喜びや苦勞もあるでしょうが、IN BOUNDも同じ留学経験をしている者同士が集まるので心強く思っていることでしょう。先輩ROTEXのアドバイスに耳を傾ける学生も多くみられました。学生だけでなく、委員においても各地区の運営の違いや問題点などの情報交換の場にもなっており、2日間の研修があらゆる意味で充実したものになっています。

オリエンテーションでは、特定非営利活動法人テラ・ルネッサンス創設者/理事の鬼丸昌也先生と公益社団法人Civic Force 事務局長、アジアパシフィックアライアンス執行責任者の根本香織先生にお二人に講師をしていただきました。お二人とも海外活動の経験が非常に豊富で我々ロータリアンが聞いても滅多に聞けることができない貴重なお話だったと思います。最後に学生に感想を聞いていましたが、新しい経験を積む楽しさと厳しさの両方を学び、オリエンテーションを通して新たな気持ちになってもらえたと思います。

第4回 諮問委員会 報告

日 時：2017年2月12日(日) 11:00～12:30
会 場：倉敷アイビースクエア コーラル

- 〈報告事項〉①2017-18年度 地区ガバナーノミニー選出の件 ②国際協議会報告 ③パストガバナー会 規約改定の件
④2017年度 米山記念奨学生選考結果の件 ⑤アトランタ国際大会の件 ⑥RYLA 3/19の件
⑦日本青少年交換研究会の件 ⑧行事予定について
⑨その他(地区大会決算報告、最重点目標純増3%会員拡大現状報告について)
◆地区ロータリー財団事務所より報告

第3回 ガバナー補佐会 報告

日 時：2017年1月28日(土) 12:00～13:30
会 場：米子ワシントンホテル 3F さくら

- 〈報告事項〉①IM開催報告について ②行事予定について ③会員状況の推移について
④ロータリーカード推進について ⑤青少年交換学生決定について ⑥米山記念奨学生選考について
⑦アトランタ国際大会について ⑧RYLA 3/19について ⑨日本青少年交換研究会について
⑩クラブセントラル入力について ⑪RIJYECの多地区合同化について ⑫その他

第2回 指定委員会 報告

日 時：2017年2月12日(日) 11:00～
会 場：倉敷アイビースクエア コーラル

- 〈議事事項〉2017-18年度ガバナーノミニーの選出について
佐藤芳郎委員長より2017-18年度ガバナーノミニーについて、出雲中央ロータリークラブより古瀬 俱之氏の推薦についての報告があり、協議の結果、指名委員会出席者全員賛成で指名委員会からの推薦を決議した。

地区だより

2017年2月

新会員のご紹介



楮原 弘文
鳥取中央RC

岡 宏徳
米子東RC

井上 卓也
米子東RC

河野 勝也
隠岐西郷RC

長岡 昭洋
大社RC

増田 敏弘
江津RC

岡 英利
倉敷RC

安藤 雅弘
倉敷南RC

鶴崎 実
津山RC

寺田 真紀夫
備前RC

ロータリー財団への寄付

ポール・ハリス・フェロー



1 沖 礼
倉吉RC

2 勝部 芳子
米子RC

2 皆美 佳邦
松江南RC

3 西本 巧恵
出雲南RC

7 道明 道弘
倉敷中央RC

1 難波 弘毅
倉敷中央RC

2 小河原 洋子
倉敷中央RC

1 高山 五三郎
倉敷中央RC

1 友田 淑子
倉敷中央RC

1 山中 祥吉
倉敷中央RC

10~12 池上 正
倉敷南RC

4 福島 正春
岡山後楽園RC

1 那須 保夫
岡山後楽園RC

4 江原 芳男
岡山中央RC

1 河田 佳子
岡山中央RC

4 吉田 守
岡山中央RC

ベネファクター



芝田 堅志
岡山後楽園RC

クラブ年次寄付

鳥取RC.....48,885円
鳥取西RC 1994.66ドル(10ドル・11ドル(新会員)寄付)
児島東RC.....117.24ドル(ミリオンダラーミール)
岡山中央RC.....1695.72ドル
(クリスマス家族例会、チャリティオークション収益金)
玉野RC.....3017.24ドル

メモリアル・コントリビューター

出雲RC.....中山真美がご尊父 中山俊彦のために
出雲南RC.....西本巧恵がご母 西本直子のために
倉吉RC.....沖 礼がご母 沖 亀野のために
米子RC.....勝部芳子がご尊父 成田 良吉のために
松江南RC.....皆美佳邦がご母 皆美 美智子のために

クラブ使途指定寄付(ポリオ・プラス)

鳥取RC.....84,100円
倉敷中央RC.....327.59ドル
津山中央RC.....1,300ドル
(「第8グループ合同懇親会」R財団100周年記念チャリティBOX)
岡山中央RC.....217.07ドル
(クリスマス家族例会、ポリオプラス募金)

ポリオプラスにご寄付いただいた方々

出雲中央RC.....第4回全国RC親睦卓球大会の募金(R財団100周年記念チャリティイベント)

使途指定を頂いた方々(ポリオ・プラス)

岡山後楽園RC.....松井 弘明

年次寄付にご寄付をいただいた方々

鳥 取 RC 油野 利博、天野 浩一、安住 庸雄、馬場 進、藤川 昭夫、藤縄 匡伸、福岡 登美子、船本 源司、英 義人、平井 耕司、星見 清晴、池内 勝彦、今井 陸雄、石谷 暢男、城 健一郎、甲斐 英則、金坂 弘一、木俣 信行、木下 裕之、岸本 信一、小原 隆三、小谷 文夫、幸田 伸一、久保 真人、倉下 光明、松本 宏思、松浦 広、丸瀬 和美、中村 碩男、西田 泰二、西田 良平、西谷 佳和、野口 稔浩、小田 橋昭仁、荻原 誉康、大村 匡国、尾崎 繁、坂本 哲、嶋田 耕一、四宮 佑一、塩 宏、杉山 長毅、住川 英明、高橋 哲夫、高須 幸敏、竹内 ひとみ、谷口 譲二、谷口 麻有子、谷本 光正、豊島 良太、土江 征典、植木 壽一、若本 憲治、山岸 晃浩、山岸 正明、山崎 弘嗣、山本 陽一郎、藪内 未男、矢野 弘之、米原 正明、吉田 友和

境 港 RC 庄司 尚史

米 子 東 RC 種田 進、永島 正道、木美 俊彦、荒川 圭三、荒川 雄司、岩崎 浩、石部 裕一、岩岡 三男、小椋 賢志、宇田川 俊宏、大野 耕策、岩崎 稔、井上 賢明

江 津 RC 藤田 武利、山崎 一成、森脇 祐之助、永井 良三、本藤 繁夫、寺下 衛、室谷 卓治、森口 裕行、青木 史郎、砂田 忠、藤代 美友、高田 圭介、石橋 孝義、和原 勝博、和木 登、原 諭、尾前 豊、佐々木 啓之、柿本 礼二、佐多 宗、伊藤 誠二、小川 泰道、藤田 和雄、小松 伸、久保田 泰介、三上 貴子、佐々木 一成、岡田 久樹、鍛冶 恵巳子、森下 幸生、山藤 志哲、平下 智隆、押越 奈津紀、室崎 拓勝、増田 敏弘

倉敷中央 RC 原田より子、榎 朋宏、香西 恭子、楠戸 登美夫、二宮 厚子、押柄 富美子、千田 修志、白神 香織、渡辺 洋介

津 山 西 RC 太田 洋一

岡山後楽園 RC 赤木 匠、秋山 義信、浅海 淳一、藤本 隆志、福光 富則、居森 正而、犬養 吉晴、丸山 夏樹、松井 浩明、宮崎 雅史、森谷 行利、中村 善一、岡本 宮松、大角 雄三、大手 悟郎、大塚 康吉、高山 雅之、鳥越 貞成、吉田 啓一

岡山中央 RC 青山 肇、荒木 雷太、武用 君彦、藤原 征治、芳原 英樹、入野 昭三、石田 淳司、石津 日出雄、岩城 孝男、甲斐 志郎、河田 隆介、木口 盛雄、小林 豊、眞木 哲之、三澤 壮一郎、守谷 欣明、中野 和之、小田 慈、小野 隆、尾坂 明義、太田 正和、杉山 守、橘 信吾、田中 秀和、田中 弘之、友宗 法道、浦田 永二、渡邊 浩哉、山下 龍子、吉田 治郎、水野 博、森川 敦詞、高島 信一、明石 拓爾

岡山岡南 RC 中前 貴子

● 米山記念奨学会への寄付 ●

米山功労者



面谷 博紀
米子東RC



杉浦 弘明
出雲RC



池田 孝
笠岡東RC



尾藤 嘉記
新見RC

米山功労者 メジャー選手



田原 茂穂
新見RC



小林 証弘
新見RC



浅海 淳一
岡山後楽園RC



内山 満義
岡山後楽園RC



中前 貴子
岡山岡南RC

クラブ普通寄付

倉吉RC	142,500円
米子RC	175,000円
米子中央RC	66,000円
笠岡東RC	123,000円
新見RC	46,000円
赤磐RC	12,000円
備前RC	140,000円

クラブ特別寄付

出雲南RC(米山ランチ)	32,000円
笠岡RC(米山ランチ)	23,760円

特別寄付をいただいた方々

米子中央 RC 若林 豪、小林 一人、吉田登志子、伊達真奈美、村岡 誠一、松澤 弘一、高橋 直樹、安本 辰雄、中村 暢宏、高塚 建二、影山 昌秀、橋本 晴人、辻田 哲朗、播間 和雄、福元 儀智、鶴田 陽介、浅中 誠、越河 允、安田 壽朗、岡本 尊徳、国頭 芳夫、清川 博敏、都田 修史、森田 徹郎

米子東 RC 面谷 博紀、北沢 薫、種田 進、永島 正道、野津 一成、木美 俊彦、荒川 圭三、荒川 雄司、岩崎 浩、石部 裕一、木山 力哉、大野 耕策、岩崎 稔、井上 賢明、岩岡 三男、宇田川 俊宏、小椋 賢志、内田 良一

岡山後楽園 RC 赤木 匠、秋山 義信、土井 基之、土井 志郎、藤本 隆志、福光 富則、福島 正春、長谷 博明、池上 孝、居森 正而、犬養 吉晴、岩根 宏行、片山 康雄、小坂 和也、國貞 繁樹、丸山 夏樹、松井 浩明、宮崎 雅史、岡本 宮松、岡村 和則、大角 雄三、芝田 堅志、末光 茂、高原 弘海、高山 雅之、田邊 敬三、鳥越 貞成、内海 睦雄、吉田 啓一、森谷 行利

米山梅吉記念館便り

米山梅吉の横顔——シリーズ[8]

米山梅吉は、46歳で「新隠居論」を著しました。一旦名を成した男子はすべからく後進に道を譲り、社会事業に貢献すべしという内容で、報恩会はこの信条の実践の場でした。当時三井一族が3,000万円、現在換算では800～900億円ともいわれる出資をし、社会、文化諸事業に貢献する目的で設立されました。理事長は米山でした。



昭和11年、岩手県視察の三井報恩会一行
(前列中央・米山)((財)三井文庫提供)

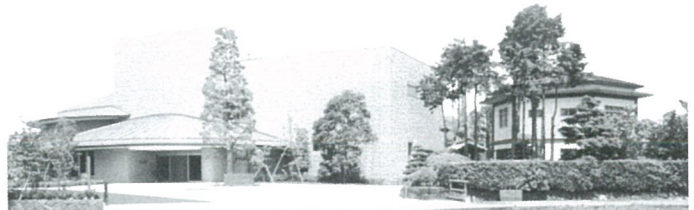
ハンセン病への助成出資はもちろん米山は昭和15年から青森から沖縄のハンセン病棟を訪ね、癌には100万円でラジウムを寄付、結核療養所もほとんど訪問し、高額な寄付もしています。農村振興も多岐にわたり東北の疲弊した農村を復興させ、西平内村には謝恩の記念碑が今も建っています。

春季例祭 | 平成29年4月22日(土) 午後2時～ 式典／講演会
ご案内 | 米山梅吉記念館 登録料無料 アトラクションあります。
多くの皆様ご参加ください。

公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101
URL <http://yoneyama-umekichi.jp>
Email: yumh@ai.tnc.ne.jp

【開館時間】午前10時～午後4時
【休館日】月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)



米山梅吉関連図書の紹介



B5判 記念館35周年記念誌
本文268ページ/2,500円

米山梅吉の聲音 記念館刊

米山梅吉の「生い立ちと人となり」「ロータリーとのかかわり」「記念館の歴史」などが詳細に解説されています。資料編としては、米山梅吉の会議や大会での挨拶や講演、ロータリー月報やラジオ放送の内容なども掲載。記念館所蔵の図書目録、年表など網羅されています。

出席報告 (2017年2月)

クラブ名	Make-up後 出席率(%)	ホームクラブ 出席率(%)	例会数	会 員 数			
				7月1日	2月末	女性員	増減
第1グループ	智 頭	88.57	82.86	4	10	9	0 -1
	倉 吉	97.17	76.89	4	59	57	2 -2
	倉吉中央	95.00	76.00	4	24	25	2 1
	倉 吉 東	88.89	66.67	4	45	46	4 1
	鳥 取	99.17	75.21	4	59	63	3 4
	鳥取中央	71.15	67.95	4	40	41	0 1
	鳥 取 北	78.95	75.94	3	50	50	5 0
	鳥 取 西	88.46	71.63	4	49	54	1 5
	計(8)	88.42	74.14	—	336	345	17 9
第2グループ	境 港	86.71	73.53	4	51	48	1 -3
	米 子	77.29	54.58	4	68	70	3 2
	米子中央	87.88	85.94	4	35	33	2 -2
	米 子 東	83.21	65.00	4	100	102	8 2
	米 子 南	79.49	64.10	4	61	63	4 2
	計(5)	82.91	68.63	—	315	316	18 1
第3グループ	松 江	94.66	74.90	4	66	70	0 4
	松 江 東	94.44	85.28	4	62	61	1 -1
	松 江 南	94.76	82.03	4	66	68	5 2
	松江しんじ湖	98.54	73.89	4	53	53	9 0
	隠岐西郷	86.21	72.41	4	23	22	0 -1
	計(5)	93.72	77.70	—	270	274	15 4
第4グループ	平 田	86.55	82.20	3	44	42	2 -2
	出 雲	83.89	72.22	4	50	51	3 1
	出雲中央	92.25	72.44	3	44	44	4 0
	出 雲 南	97.27	82.81	4	64	64	6 0
	大 社	67.18	60.31	4	52	55	4 3
	計(5)	85.43	74.00	—	254	256	19 2
第5グループ	江 津	78.95	71.43	4	37	35	2 -2
	浜 田	89.05	76.08	4	56	55	1 -1
	益 田	93.42	80.26	4	18	19	2 1
	益 田 西	88.54	68.75	4	26	24	2 -2
	大 田	90.18	86.61	4	31	29	4 -2
第6グループ	計(5)	88.03	76.63	—	168	162	11 -6
	井 原	87.76	70.07	4	40	42	2 2
	笠 岡	97.59	92.07	4	46	45	0 -1
	笠 岡 東	90.85	79.27	4	40	41	1 1
	新 見	91.30	86.96	4	23	23	2 0
	総 社	85.95	69.83	4	31	33	7 2
	総社吉備路	84.80	80.80	4	31	32	1 1
	高 梁	88.41	82.21	4	39	41	0 2
	玉 島	86.46	84.38	4	26	26	1 0
	計(8)	89.14	80.70	—	276	283	14 7

クラブ名	Make-up後 出席率(%)	ホームクラブ 出席率(%)	例会数	会 員 数			
				7月1日	2月末	女性員	増減
第7グループ	児 島	80.20	66.34	4	29	28	1 -1
	児 島 東	88.24	80.39	3	16	17	0 1
	倉 敷	99.69	77.40	4	87	88	1 1
	倉敷中央	92.31	92.31	3	13	15	7 2
	倉 敷 東	97.22	90.97	4	43	41	3 -2
	倉 敷 南	89.66	67.52	3	53	58	3 5
	倉敷水島	87.50	86.84	2	22	24	0 2
	倉敷瀬戸内	78.63	73.87	3	37	39	3 2
	計(8)	89.18	79.45	—	300	310	18 10
第8グループ	真 庭	92.97	83.59	4	35	33	0 -2
	美 作	87.50	87.36	3	31	30	1 -1
	津 山	82.35	71.18	4	86	86	3 0
	津山中央	76.47	75.49	4	26	26	2 0
	津 山 西	87.50	84.87	4	31	32	7 1
	計(5)	85.36	80.50	—	209	207	13 -2
第9グループ	赤 磐	80.56	71.43	3	12	12	0 0
	備 前	77.43	64.65	4	58	57	7 -1
	岡 山	88.09	71.47	3	105	115	1 10
	岡 山 東	92.39	83.93	4	97	94	0 -3
	岡山北西	83.80	73.61	4	54	55	3 1
	岡山後楽園	80.66	74.06	4	53	53	0 0
	計(6)	83.82	73.19	—	379	386	11 7
第10グループ	岡山旭川	84.62	65.38	4	27	27	3 0
	岡山中央	75.00	63.16	3	33	37	2 4
	岡 山 北	83.33	67.42	3	41	44	1 3
	岡 山 南	83.64	70.47	4	158	170	19 12
	玉 野	88.57	81.43	4	35	35	0 0
	計(5)	83.03	69.57	—	294	313	25 19
第11グループ	岡山備南	87.18	80.53	4	32	33	2 1
	岡 山 城	89.00	75.76	4	25	25	1 0
	岡山岡南	72.34	52.17	4	24	25	2 1
	岡山丸の内	72.50	65.83	3	38	41	2 3
	岡 山 西	87.54	72.13	4	71	73	5 2
	岡山西南	90.20	76.97	3	53	54	3 1
	計(6)	83.13	70.57	—	243	251	15 8

地区
クラブ内の
状況

ク ラ ブ 数	66RC
2016年7月1日 会員数	3,044名
2017年2月末日 会員数	3,103名
内 女性会員数	176名
純 増	59名
2 月 出 席 率	Make-up 後 86.56%
	ホームクラブ 75.01%


人類に奉仕する
ロータリー

2016-17年度
国際ロータリーテーマ

2016-17年度
国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム

2016-17年度 地区ガバナー
庄司 尚史


〒684-0033 境港市上道町 3147

TEL(0859)44-2690 FAX(0859)44-2650

E-mail: shoji-2690@tiara.ocn.ne.jp